

晴れの国から、挑戦を。

OKAYAMA UNIV. INCUBATOR

2026
Jan
NEWSLETTER

TOPICS

万博からその先へ

「未来航路」出展参加企業交流会

入居企業紹介

切削工具管理をAIで革新 モリマシナリー株式会社

年の瀬の嬉しい一コマ



OKAYAMA UNIV. INCUBATOR

01 万博からその先へ 「未来航路」出展参加企業交流会

Opening



12月17日、万博出展企業を対象とした中小機構主催ブース「未来航路」出展参加企業交流会が開催されました。全国から多様な業種・分野の企業が集いました。会場となった経産省別館の共創空間「ベツナナ」は、官民はじめ様々な交流を生み出すことを目的にこの夏開設されました。開会挨拶では、中小企業庁の山崎経営支援部長より、「日本経済の成長には、雇用の7割を占める中小企業の力が必要不可欠。特に今日ここにいらっやっている皆さんのような成長志向の企業が日本の未来を作っていくと思っている。今日は万博の思い出を振り返るとともに、今後の成長への思いや政府の中小企業政策についてもご意見をいただきたい」と期待を述べました。



中小企業庁
山崎経営支援部長



ダイジェスト・3Dバーチャル映像視聴



参加者を代表し参加証を受け取る
HPC沖縄代表取締役阿波根氏

Session

グループセッションでは少人数のグループに分かれ、各社が自社の強みや万博出展前後の変化、今後実現したい未来や目指す事業像について意見交換を行いました。社内意識の変化や新たなビジネスチャンスの創出、他社との連携の可能性など、参加企業それぞれが抱える課題や展望が率直に語られました。「最初に万博出展の話が来たときは詐欺かと思った」と正直な感想も聞こえ、大盛り上がりのセッションでした。岡山大インキュベータからは(株)白獅子の春名社長が参加されました！臨場感溢れるVRの270度の動画撮影の方法など、他社からも関心が寄せられました。



Networking Reception



交流会の終盤には、懇親会が開催され、参加者同士がさらに親睦を深めました。今回の交流会を通じて、参加企業同士の情報共有や成功・失敗事例からの学び、協業の可能性探求など、実践的な気づきを得られました。今後もこうした交流の場を活用し、具体的な協業や課題解決に向けたアクションにつなげていくことが期待されます。中小機構宮川理事長は「日本の未来を切り開くのは日本の技術。日本は中小企業の技術が日本の力となっている。中小機構もともに後ろから応援します。」と結びました。



中小機構
宮川理事長

OKAYAMA UNIV. INCUBATOR

【入居企業紹介】

切削工具管理をAIで革新 モリマシナリー株式会社

02



人口減少や熟練工不足が進む製造現場では、切削工具の管理が属人化し、品質のばらつきや情報共有の難しさが課題となっています。モリマシナリー株式会社は、こうした現場の声に応える自動工具管理システム「TOOL SOMMELIER®」を開発しました。TOOL SOMMELIER®は、切削工具の刃先状態をAIで検知し、欠けや摩耗、寿命を判断。製品不良の原因となる異常を早期に把握し、工具のコンディションを一括で管理することで、品質の安定化と作業負担の軽減を実現します。また、工具の保管場所を問わず情報を一元管理できるため、工場全体の「見える化」と標準化を促進。工場ごとの熟練工ノウハウをAIに学習させ、AI同士が連携・分散学習することで、秘匿性を保ちながら判断精度を高めていきます。切削工具管理を起点に、熟練工不足や労働力減少といった製造現場の課題を人に代わって支えるTOOL SOMMELIER®。スマート工場化を後押しするインテリジェントマシンとして、現場の生産性向上に貢献します。



03 年の瀬の嬉しい一コマ

新年あけましておめでとうございます。昨年は、岡山大学インキュベータの活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。年末の慌ただしい時期、岡山大インキュベータIM室に、入居企業のマグミット製菓の石橋部長がご挨拶に立ち寄ってくださいました。「今年もお世話になりました」と交わす何気ない言葉と、少し和らいだ空気に、仕事納め前の心がふっと温まるひとときでした。この時期は、ほかに日頃から関わってくださっている方々が顔を見せてくださり、あらためて人と人とのつながりに支えられている場所だと実感します。こうした小さな交流の積み重ねを大切にしながら、2026年も皆様の挑戦を全力で支援してまいります。



公式SNSでも情報発信中



岡山大インキュベータ



@OKAYAMA_INCUBATOR

想いを「カタチ」に。
ここは、未来を孵化させる場所。
Incubate



- 理想を形にする環境**
岡大津島キャンパス内、24時間入退館可能なP2レベル対応ウェットラボ。電気容量の増設や排水処理槽など、高度な実験を支える設備を完備。
- 経営を孤立させない支援**
研究がビジネスへ変わる時、直面する資金や販路の壁。常駐のマネージャーと様々な専門家が、あなたのチームとして実務をサポートします。
- 挑戦を後押しする制度**
国立大学との産学連携に最適な立地。岡山市の賃料補助制度も利用可能です。コストを抑え、研究の解像度を上げることに集中してください。